

3学期がスタート ～始業式のあいさつから～

保護者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は本校へのご理解、ご支援をいただきありがとうございました。本年もよろしくお願いたします。

3学期の始業式で、子どもたちに会津藩の「什（じゅう）の掟（おきて）」について話をしました。会津藩ではみんなで遊ぶ前に、年上の人がきまりについて話をしていたそうです。その話の中に、「うそを言うことはなりません。」「卑怯（ひきょう）なふるまいをしてはなりません。」「弱い者をいじめてはなりません。」などの内容がありました。このようなことを守らなかった場合は、親と一緒に友達に謝らなければならなかったそうです。お詫びをしても、反省の態度が見られなかったら、「ならぬことはならぬもの



です。」と決して許してもらえなかったということです。この「ならぬことはならぬものです。」という言葉には、人として生きるためには、絶対やってはいけないことがあるという意味がこめられています。礼儀が無いこと、うそをつくこと、弱い者いじめをすることなどは、人として恥ずかしいことだと思われていました。このようなきまりは、大人から言われてつくったのではなく、子どもだけでつくってみんなで守っていたようです。

そこで、若葉小学校でも左の3つのことについて守ってほしいと話しました。この3つのことをみんなで守り、友達と心を通わせながら楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。

若葉小学校
みんなのやくそく

いしない。

☆自分
がされて
いやな
ことは、
人には
ぜった

☆うそ
をつか
ない。

☆いじ
めはし
ない。

<若葉校区の「どんどや」が開催されます>

1月19日(日)の午前10時より、若葉6丁目の多目的広場(東部浄化センター隣り)で「どんどや」が開催されます。主催は若葉校区自治協議会の方々に、久しぶりの開催だそうです。最近はこのような行事も少なくなり、経験する子どもも限られてくると思います。参加可能なご家庭は、是非ご参加ください。



(他地域のどんどやの様子)

<お知らせ>運動場の南側に設置してある総合ジム(現在使用中)が、今の安全基準に達していないということで、来週撤去されることになりました。たくさんの思い出が詰まった遊具だと思いますがご理解いただきますようお願いいたします。



『一年の計は春にあり 一月の計は朔(ついたち)にあり

一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり』

この言葉は、戦国時代の武将、「毛利元就(もうりもととなり)」が言った言葉だそうです。元日の朝、この1年をどう過ごすかと目標や計画を立てる人は多いと思います。だれもが、いい年となるようにと願うことでしょう。しかし、1ヶ月もたたないうちに、その気持ちは一変してしまうことが多いように思います。元日の朝のあの気持ちはどうしたのでしょうか。

元日の朝だけ特別な日と思うのではなく、1年の初め、1ヶ月の初め、1日の初めをいずれも重要な時(とき)と思って生活していきたいものです。